



きもちのよい笑顔！ まっすぐな心！ ちから強い身体！

学校だより

仙台市立木町通小学校
第5号
令和4年7月20日



誰かのために

校長 原 新太郎

先週「ミニ木の芽まつり」がありました。6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生がペアになり、上級生がいろいろな遊びを用意して下級生を招待する、というものです。従来は全校みんなで行っていましたが、感染症対策として2学年ごとの開催にしました。それでも、どの子も「楽しかった」と口をそろえて感想を言っていました。

どうして「楽しい」と感じたのでしょうか。遊び自体が楽しかったのは間違いありません。それと同時に、上級生は「下級生のために工夫し、準備をし、お世話をしたことで下級生に喜んでもらったこと」、下級生は「上級生に優しくしてもらえたこと」がうれしかったと言っていました。

人と関わりながら、「自分は誰かの役に立っている」と感じることは、子どもの成長にとってかけがえないことです。難しい言葉だと「自己有用感」と言うそうです。「自分も誰かの役に立ちたい」「誰かを喜ばせたい」という気持ちを育てることは、人としてとても大切なことではないでしょうか。

明日から夏休み。私からは子どもたちに1つだけ宿題を出しました。それは「夏休み中、何か一つ家のお手伝いを続けてする」ということです。家族のために自分ができる役割を果たす…ここから得られる学びは、10年後、20年後の子どもたちの成長に必ずつながっていくことでしょう。子どもたちがそれぞれのご家庭の中で「自己有用感」を味わえる、そんな夏休みになることを願っています。



仙台七夕まつり「笹竹短冊通り」について

まもなく仙台七夕まつりです。「芭蕉の辻まちづくり協議会」からの依頼を受け、全校児童が短冊に願い事を書きました。個人情報保護の観点から学校名のみで個人名は書いていませんが、一人一人が思いを込めて書き上げました。別紙でご案内の「復興折り鶴飾り」と併せ、ぜひご覧いただければと思います。

【期間】 令和4年8月6日（土）～8日（月）

【場所】 一番町～芭蕉の辻を中心とした大町通り～

【内容】 笹竹40本に手作りの短冊5000枚と七夕飾りを取り付ける。



楽しく有意義な夏休みを

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの教育活動を継続し、4月の授業参観は中止を余儀なくされましたが、6月からたくさんプールに入ることができたり、7月にミニ木の芽まつりを実施したりと、ここ1、2年よりも通常に近い形で1学期前半を過ごすことができました。

保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解いただき、お子さんの健康管理に加え、運動会やオンライン学年懇談会、引渡し訓練等でもご協力いただきました。心から感謝申し上げます。

子どもたちは、明日から35日間の夏休みに入ります。夏休み中も、健康・安全第一で、規則正しい生活を心掛け、家族との時間を大切にしながら、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。8月25日（木）にまた元気な笑顔と会えることを楽しみにしております。

